

定住自立圏イベント情報 ～八代市～

隠れ里映画祭

- ◆日時 8月28日(金)～30日(日) 13時30分～(開場 12時45分)
 - ◆場所 ふれあいセンターいづみ
 - ◆上映作品 8月28日(金) しあわせの隠れ場所
8月29日(土) 酔拳2
8月30日(日) オーシャンズ11
 - ◆費用 無料
 - ◆定員 各日30人(先着順)
 - ◆特別イベント ・レストランで使えるソフトアイス引換券のプレゼント ・写真コンテスト入賞作品展示
- ☎ 泉町観光協会(泉支所 地域振興課内) ☎0965-67-2111



未就学児子育て情報

内容	日時	場所	対象者
4か月児健診	8月25日(火) 12時30分～	健康センター	令和2年4月生まれ
7か月児健診	8月25日(火) 12時30分～		令和2年1月生まれ
3歳児健診	8月18日(火) 12時30分～		平成29年5月から 7月生まれ
母子手帳交付	毎週月曜		妊婦



☎ 町民課 保健予防係(健康センター) ☎0965-52-7154

短歌

グラウンドにゴルフ選手ら並び立ち
手製マスクのファッションショー
北野津 宮本 末秋

原っぱの民喜ばぬ暗黒を
炎にさらす夏の花かな
北野津 井田 道寛

うぐいすのささき鳴き聞ゆ梅雨中場
年に一度の姿は見えず
西野津 古崎スエノ

病室の窓より覗く夏の夕
一羽のガラス胡乱する
西野津 古崎 栄子

祖母無学父母いてスマホいじる孫
無心に生きた我等兄弟
西上宮 村内 一誠

ただ一ひねの帰国祈りたる
父の無念の晴れる日は何時
吉本 高瀬 道昭

サンガラス茶色の奥の微笑みに
つられて我も微笑み交わす
吉本 高橋 澄子

災害を安ずる遠き友の声
心は戻る二十才の頃に
上鹿島 前村 俊子



俳句

父の日の息子の電話ことばのみ
北野津 宮本 末秋

神が死にきのが育つ原爆忌
北野津 井田 道寛

赤トンボ前に後に村はずれ
西野津 古崎スエノ

青田水流れ出たる余り水
西野津 古崎 栄子

七月や一夜明けたる豪雨跡
吉本 高橋 澄子

キキョウ植ふこんもりと咲くそのそばに
西上宮 村内 一誠

短か夜に夢広がりし天の川
上鹿島 前村 俊子

久しぶり覚えてくれたうれし泣き
高塚 影下やす子

投稿について

- ・楷書で記入し、漢字には全て読みがなをふって投稿してください。
 - ・内容確認する場合がありますのでお電話番号を記載してください。
 - ・毎月5日必着
 - ※遅れて投稿された場合掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 投稿先
〒869-4814 氷川町島地642番地
企画財政課 企画係
☎0965-52-5850

考察 中野重治 愛しき者へ

法道寺 本田 花風

「愛しき者へ」のタイトルは、中野さんの手紙の底に流れている温かい妻恋の感情からとった「澤地」は記している。「昭和」を生きた人間の証言的な青春の書として読まれることを願ったからである。中野重治が家族へ書いた未発表の書簡集である。

上巻には、一九三〇年八月から三十四年八月まで、四年にわたる百六十七通の手紙が収められている。妻、故郷の老父母、妹たち、妻政野の妹、そして二人娘の卵女にあてて、中野重治はその心の内側を虚心にさらけだし手紙を書いている。

書簡第百信(一九三〇年八月五日 東京市外野方町新井三三六豊多摩刑務所より)

まさのどの
重治

「どうもこの手紙をかきこじった。裁判所から電話の代わりに出した速達も届いたろうし、この手紙の着く前に面会にも来てくれだろうし、…なお、ワシ等が一緒にいた期間は僅か一ヶ月であったが、私にはお前さんが十年もつれ添うた古女房のようにしか思えぬので(また叱られることであろう。)アレヤコレヤと胸に溜まっていることは次にして…と、差し入れについて衣服、食物、書物について注文している。特に本は獄中に於いて、これだけのものを揃えられるであろうかと心配するほどである。二人の結婚は「驢馬」の同人・窪川鶴次郎、西沢隆二にうながされてのもので、いわゆる恋愛結婚ではない。

八火図書館 だより

新着図書	
一般書	児童書
死者との対話 石原 慎太郎/著	コロナとたたかうぼく 塚本 やすし/著
いちねんかん 畠中 恵/著	イーブン 村上 しいこ/著
サキの忘れ物 津村 記久子/著	鬼滅の刃 風の道しるべ 吾峠 呼世晴/原作
またねの家族 松居 大悟/著	あかいしろくま 柴田 ケイコ/著
ファクトフルネス ハンス・ロスリング/著	プラスチックのうみ ミシェル・ロード/作

みなさんは8月10日が何の日かご存じですか?2016年から施行された「山の日」という祝日です(例年は8月11日)。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」ということですので、この機会にご家族で山登りに挑戦…とはなかなかハードルが高いので、山が出てくる絵本と一緒に読んでみるのも楽しそうですね♪

休館日の本の返却は、正面玄関横の返却ポストをご利用ください。

【お問い合わせ先】
八火図書館 ☎0965-62-3489

「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

暑い日が続いています。新型コロナウイルス感染症の大流行で今年の夏は、私たちの生活にとって厳しいものになっています。また、小・中・高校生にとっても夏休みが短くなり、頑張って夏を乗り切ってほしいものです。

さて、8月15日は、忘れてはならない日「終戦記念日」です。戦後、75年経っています。戦争は、国と国の争いですが、互いに知らない人同士の命が奪われます。また、戦争に参加していない人も犠牲になるのです。考えてみれば異常な事です。

さて、戦争の跡として海や空で戦った船や飛行機が、海や陸で横たわっています。そして、多くの人々の御霊が、その近くで眠っています。

マイクロソフトの共同創業者ポール・アレンという人がいました。2018年に65歳で亡くなりましたが、この人のお父さんはヨーロッパ戦線に参戦されました。

「幸い家族のもとへ帰ってきましたが、その幸運に恵まれなかった多くの家族がいます。祖国に命をささげた人々が最後に眠りについた場所を記録することは、かれらの献身的かつ英雄的な自己犠牲の記憶を新たにすることです。」

アレン氏は、このような気持ちから、歴史的な意義だけではなく、戦争で命を落とした人たちのために、生存者や遺族のために、海に沈んでいる船を捜索することを事業として行われました。

2015年に日本の戦艦「武蔵」が発見されたことは話題になりました。自国(アメリカ合衆国)の船も捜索されました。海底には、太平洋戦争で軍艦や民間の商船合わせて1万隻以上沈んでいるそうです。(NHK:サイカルジャーナルより) 戦争は、勝者も敗者も大きな被害を受け、その後も長い年月の間、戦争によってできた様々な傷跡の修復を行わなければなりません。大変なことです。

戦争は、最大の人権侵害です。多くの命がなくなります。争いのない平和な社会になることを祈りましょう。互いに励ましあい、「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町づくり」を推進しましょう。

☎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860